

あかばねこども園 施設関係者評価 報告

開催日時 令和7年3月5日9:30~11:00
場所 あかばねこども園遊戯室
参加者 9名
高松・赤羽根・若戸小学校長
高松・赤羽根・若戸校区コミュニティ会長
おやがめ会 役員 3名

◆園参観並びに自己評価、保護者評価を基に、4つの大項目ごとに意見交換を行った

- 子どもの人権
 - 特に意見無し
- 子どもの生活
 - [質問] 園のおやつについて
 - ☆ 昨年度より評価が若干下がったが、内容の変更はない
 - ☆ 季節や行事に合わせて安心安全な食材を使用して作っている。アレルギーの子も同じものが食べられるようにということを意識している
 - ☆ おやつは食事と食事の間の補食という側面がある。特に夕方のおやつは、夕食前の小腹を満たすために、少しでも良いものという意識で無添加のおやつを導入している。
 - [意見] 月齢差などの育ちの違いにも、保育者が一人一人に対応してくれていると感じる。
 - [意見] 発表会は見応えがあって良かった。年中、年長児も両方のクラスが見たかった。
 - [意見] 園として、発表会に向けての過程を大切にするというのがルクミーを通して伝わってきた。そのおかげで、より発表会を楽しむことができた。
 - [意見] 園で行っているクッキングの活動が、小学校に入ってからも活きている。
- 家庭・地域との連携
 - 「園は保護者に必要な情報を伝えている」の評価への対策
 - ☆ ルクミーのお知らせの仕方にルールを持たせるとともに、口頭でも確認する。
 - ☆ 紙媒体も利用する
 - [質問] 小学校ではコミュニケーションの観点から、欠席連絡は電話で行っているが。
 - ☆ 保育業界でも以前はそのような観点から、ICTの導入には慎重だった。いざ導入してみると、必要な時には電話でやりとりできるし、前日や深夜に欠席の連絡ができるなど、便利な点が多いと感じる
- 園の運営
 - 「事務手続きはわかりやすい」の評価への対策
 - ☆ 分かりにくい原因の特定と、分りやすくする工夫、職員間で事務について細やかに共有するとともに、窓口を明確化する
 - 「感染症についての対応は適切である」の評価への対策
 - ☆ 感染症患者が出た場合の情報提供を変更
 - 一人でも発出したら玄関でお知らせする